



# YAMAHA

2017.4

CX-A5100/MX-A5000

AVVENTAGE

Separate Series



Powered by music



聴き手の情熱を煽り、時を超えて輝く。  
〈AVVENTAGE〉セパレートシリーズ

音・臨場感・操作性の色褪せない本質を追求する、ヤマハの〈AVVENTAGE〉。

その頂点に立つ〈AVVENTAGE〉セパレートシリーズ=CX-A5100/MX-A5000は、

11.2ch AVプリアンプ+11chパワーアンプという理想のプラットフォームを得て

11.2ch・3次元立体音場創生の真髄に迫ろうとする最高級セパレートAVアンプシステムである。

深い静寂と怒濤のエネルギー、3Dサラウンド時代に新たな才能を現すシネマDSP HD<sup>3</sup>。

そしてシアター環境の変化に即応する柔軟な拡張性。スイッチを入れたたびに

聴き手の情熱を煽り、時を超えて輝く存在となることを目指した。

**AVVENTAGE**  
Separate Series

AV Preamplifier

CX-A5100

Power Amplifier

MX-A5000



ヤマハが考えるAVプリアンプの要件はただひとつ。  
それはフラッグシップとしての「器」ではなく、究極的な音の純度だ。



大きな電流を発するパワーアンプは筐体の外へ隔離して、電気的・磁気的にクリーンな環境のなかでアナログ回路をゆったりと、デジタル回路を緻密に、オーディオ設計のセオリーにひたすら忠実にレイアウトする。横幅435×高さ192×奥行474mm、一体型AVレシーバーのトップモデルに相当する内部空間を贅沢に使い切ったこのAVプリアンプの音質的成功は、コンセプトの段階から早くも約束されていたと言つていいだろう●計11.2ch分のD/A変換を担う2基のESS社製SABRE<sup>32</sup> Ultra DAC ES9016Sは、デジタルボードとアナログオーディオボードを立体結合してグラウンド間の電位差を限りなくゼロに近づける独自のD.O.P.G.(DAC on Pure Ground)コンセプトによって、その生来の美点である微小信号の再現性と力強いダイナミクスをかつてない鮮やかさで開花させた●電源部にはオーディオ/デジタル/アナログ映像/FLディスプレイを分けた4回路分離パワーサプライを採用。カスタムメイドの密閉型EIコアトランジスタオーディオ回路専用に投入し、絶対的な静寂性と豊かな情報量、そしてフルボリュームまで首尾一貫した強靭な駆動力を支えている●さらにローム社との共同開発による高音質電子ボリューム、ルビコン社とのコラボレーションで生まれたオリジナルPMLコンデンサー、高精度ロジッタークロックの内蔵によってネットワーク/USB/Bluetooth®音声のS/Nを飛躍的に向上させる新世代のヤマハオリジナル・ネットワークモジュールなど、最新・最善の開発成果もいち早く共有した●1991年に世界初のセパレートAVアンプを発売したヤマハが考えるAVプリアンプの要件はただひとつ。それはフラッグシップとしての「器」ではなく、セパレートでなければ辿り着くことのできない究極的な音の純度だ。

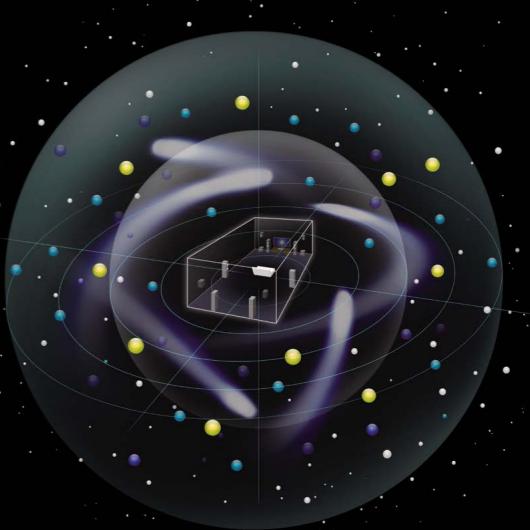


生まれ変わったシネマDSP HD<sup>3</sup>と、夢の64bitハイプレシジョンEQ。  
臨場感を音の良さと引き換えにする時代は、終わった。



空間情報の完全再現を目指す3次元音場創生技術の最高峰=シネマDSP HD<sup>3</sup>(エイチディ キュービック)。2007年の「DSP-Z11」以来となる新規開発の音場アルゴリズムを導入したCX-A5100は、Dolby Atmos®に代表されるオブジェクトベースの3Dサラウンドフォーマットとの掛け合わせ再生を史上初めて実現した●33種類のサラウンドプログラム\*はすべて3Dフォーマットに最適化され、ハイチャンネルを含む全スピーカー間の自然な音のつながりを生み出す。周到に計算されたサウンドデザイナーの企みが観る者を作品世界の深淵へと引き込み、決定的な体験の差となって心に刻まれるのだ●さらに3Dサラウンドへのアプローチで明らかになったのは、音の基本性能の向上が、そのまま空間再現力の違いとなって現れることである。たとえば、実際の映画館では最大60台以上のスピーカーから独立したフルレンジ音声が输出されるDolby Atmos®。特有の移動感や定位感をホームシアターの限られたスピーカー構成で忠実に再現するためには、これを正しく峻別できる低域分解能の獲得が鍵となった。そして小音量再生時における低域ノイズフロアの削減、可聴帯域外の超低域までもカバーするジッター除去能力の拡大、あるいは高分解能の影で失われがちな密度感や開放感の追求など、スペックに表れることのない緻密な設計とファインチューニングの集積によってCX-A5100の描写力は次のレベルへ飛躍した●そして、長らく構想として思い描いた64bitハイプレシジョンEQを初めて搭載する、本機専用の視聴環境最適化システム=YPAQ。音場補正の介在を忘れさせ、空間を意のままに制御するその新しい威力が、あなたのシアター観を支配した“見えない壁”を打ち碎くだろう。臨場感を音の良さと引き換えにする時代は、終わった。

\*11ch Stereoを除く全プログラム \*Enhancedはファームウェア更新により対応



シネマDSP HD<sup>3</sup>音場概念図

## CX-A5100に採用された新技術・新機能

**Dolby Atmos®&DTS:X対応デコーダー**: ドルビーラボラトリーズ社が開発したDolby Atmos®とDTS社が開発したDTS:X、ふたつの最新3Dサラウンドフォーマットに対応。プレゼンスピーカーはフロントスピーカー上方壁に設置する「フロントハイ」、天井に設置する「オーバーヘッド」、フロアスピーカーの上に設置する「ドルビイネーブルドスピーカー」のいずれかを選択でき、5.1.2ch、5.1.4ch、7.1.2ch、7.1.4chのすべてのスピーカー構成をサポートする。

**シネマDSP HD<sup>3</sup>と3Dサラウンドフォーマットとの掛け合わせ再生を史上初めて実現**: フロント/リアプレゼンスを含む最大11.2chスピーカー構成で、音場の高さ方向を含む空間情報の完全再現を目指す3次元立体音場創生の最高峰=シネマDSP HD<sup>3</sup>。本機ではオブジェクトベースオーディオを前提とした新たな音場創生アルゴリズムの開発と信号処理の高速大容量化によって、史上初となるシネマDSP HD<sup>3</sup>サラウンドプログラムと3Dサラウンドフォーマットとの掛け合わせ再生を実現した。サラウンドプログラムには、シネマDSP HD<sup>3</sup>専用のプログラムを含む計34種類のフルプログラム<sup>\*1</sup>を搭載。仮想のプレゼンスピーカーを空間上に生成するバーチャル機能<sup>\*2</sup>を併用すれば、7.2chスピーカー構成で最大11.2ch相当のシネマDSP HD<sup>3</sup>再生に対応する。

\*1: Enhancedはファームウェア更新により対応。

\*2: Dolby Atmos®およびDTS:X信号はバーチャル再生されません。

**64bitハイブリジョンEQ搭載の特別なYPAO**: 新たに64bitハイブリジョンEQを搭載して音の品位を極めた、本機専用の視聴環境最適化システム「YPAO」(Yamaha Parametric Room Acoustic Organizer)。初期反射音を積極制御して視聴環境を最適化する「YPAO-R.S.C.\*」、再生周波数特性を音量に応じて聴感上フラットになるようコントロールする「YPAO Volume」、設置した各スピーカーの距離と方角、プレゼンスピーカーの高さを自動計測して音場空間を立体的に補正する「YPAO 3D測定」を含む総合的な測定・補正プロセスによって、ハイトスピーカーの位置・仕様・室内環境などによってその効果が影響を受けやすい3Dサラウンド再生の課題を克服した。64bit処理ならではの圧倒的なサウンドクオリティがそれぞれの補正能力を驚くほど自然に、明確に引き出し、音の質的変化を感じさせない新次元の視聴環境改善効果を発揮する。

\*R.S.C.=Reflected Sound Control

**4回路分離パワーサプライ**: オーディオ/デジタル/アナログ映像/FLディスプレイ回路のそれぞれに専用電源を割り当てて相互干渉を排除する4回路分離構成に加え、カスタムメイドの密閉型Eコアトランジスタを100%オーディオ回路専用として使用することで全動作モードでのS/N感をさらに向上。音の情報量と精度、強靭な駆動力のすべてを安定的に支える。

**最新オリジナルパートによるファインチューニング**: 小音量時の低域ノイズフロアをさらに削減する高音質電子ボリューム(ローム社と共同開発)、解像感と密度感・開放感を高度にバランスさせる専用PMLコンデンサー(ルビコン社と共同開発)など最新オリジナルパートによるファインチューニングを実施。低域の輪郭や実在感を左右するウルトラロジッターピーク PLL回路(除去特性選択式)は旧CX-A5000と比べて最大4オクターブ下の可聴帯域外にまで効果を拡大し、さらなる安定感と豊かな余韻を獲得した。

**高音質ネットワークオーディオ**: DSD 5.6MHz、WAV/FLAC/AIFF 192kHz/24bit、Apple Lossless 96kHz/24bitをサポート。高精度ロジック回路の内蔵によってネットワーク/USB/Bluetooth®再生時のS/Nを飛躍的に向上させる新世代ヤマハオリジナル・ネットワークモジュールが、ハイレゾ音源のデリケートな音の違いも忠実に描き分ける。vTunerマーク&オートプレイにも対応。

**ハイレゾリューション・ミュージックエンハンサー**: 非圧縮(CD/WAV/AIFF)または可逆圧縮 FLAC/Apple Lossless)音声を最大96kHz/32bit分解能まで拡張処理。既存のオーディオソースをハイレゾ音源ながらの豊かなプレゼンスとともに楽しめる。



### CX-A5100 その他の特長・機能

- H型クロスフレーム＆ダブルボトム構造で理想的機械的強度を発揮する制振・高剛性シャーシ
- 設置安定性を高めて共振を効果的に分散。アンチレゾナンスステクロジーに基づく「5番目の脚」
- ESS社製ハイグレード32bit DAC=SABRE<sup>32</sup> Ultra DAC ES9016Sを11.2ch用として2基搭載
- シャープロールオフ/スローロールオフ/ショートレイテンシーのデジタルフィルター特性を選択可能
- 3種類のジッター除去特性を信号精度や好みに応じて選択できるウルトラロジッターピーク PLL回路
- ノイドリック社製金メッキ仕様XLR端子を採用した11.2chバランス出力/2chバランス入力を装備
- HDCP2.2、HDR伝送、4K/60p 4:4:4映像信号に対応した7入力/2出力のHDMI端子\*
- \*:その他、フロントに1入力搭載。
- 別室で映画の続きを観たり、お好みの音楽などが聴けるHDMI対応アバランズゾーンスイッチング
- 家庭内ネットワークへ無線LAN接続できるWi-Fiに加え、LAN環境不要のWireless Directも内蔵



AV Preamplifier CX-A5100  
本体価格 280,000円(税抜)  
(H) チタン JANコード: 49 57812 58615 3  
(B) ブラック JANコード: 49 57812 58605 4  
5年保証

### スマートフォン/タブレット用アプリケーション「AV CONTROLLER」フル対応

CX-A5100は、ヤマハAVレシーバー用アプリケーション「AV CONTROLLER」にフル対応。スマートフォン/タブレットをリモコンのように使って音量調整や入力/音場プログラム選択などの基本操作が行えるのはもちろん、シネマDSPの音場効果を指先のピ

[日本語対応スマートフォン/タブレット用アプリケーション]  
**AV CONTROLLER**

\* [AV CONTROLLER] のデモモードはアプリの一機能です。デモモードでは実際の操作は行えません。  
iOS 9.0以降がインストールされた iPod touch/iPhone/iPad、Android OS 2.1以上がインストールされた Android端末に対応。iOS版はApp Storeから、Android版はGoogle Playから無償ダウンロードできます。なお、本アプリケーションのご利用には操作対象のAVアンプと無線LANルーターとの有線接続が必要です。



| 入力      | 出力              | モニター出力              |
|---------|-----------------|---------------------|
| HDMI    | 8 <sup>*1</sup> | 2(同時に1ゾーン/2ゾーン4出力可) |
| Network | Ethernet 1      | —                   |
| USB     | 1               | —                   |
| 映像      | コンポーネント 3       | 1                   |
|         | コンポジットRCA 5     | 1                   |

\*1 AV1~7がHDCP2.2に対応。\*2 PHONO端子を含む。

| 入力 | 出力                    | モニター出力 |
|----|-----------------------|--------|
| 音声 | デジタル(光/同軸) 3 / 3      | —      |
|    | アナログ 10 <sup>*2</sup> | —      |
|    | アナログマルチch 1           | —      |
| 映像 | コンポーネント 3             | 1      |
|    | コンポジットRCA 5           | 1      |

\*1 AV1~7がHDCP2.2に対応。\*2 PHONO端子を含む。

\*デジタル音声入出力端子、コンポーネント映像入力端子はセットメニューによりアサイン可能です(前面HDMI入力端子を除く)。



11chをひとつの空間として描き切る、圧倒的な力感と静けさ。  
重厚な基本設計としなやかな汎用性がホームシアターの興奮を加速させる。



MX-A5000は1チャンネルあたり230W\*の定格出力を発揮する大型11chパワーアンプである。3段ダーリントン・電流帰還型増幅回路やH型リジッドフレーム方式の強靭な躯体に象徴される重厚な基本設計にバーサタイルな機能性を融合し、時代を超えて信頼されるシアタールームのリファレンス機となることを目指した●フォーマットの進歩を未来にわたってリードし続けるために、まず必要なのは信号経路の純化である。その前提として本質的にシンプルな電流帰還型増幅回路があることはもちろんだが、チャンネルごとの独立性を高める配線やプリントパターンのノウハウ、バランス/アンバランスとチャンネルセレクターの選択を最小限のスイッチ接点で実現する巧妙な入力回路、バランス接続のできないプリアンプに対してもバランス接続の原理を活かした高品位伝送を可能にするグラウンドセンシング方式など、その方針は細部にまで貫かれる●さらに、磁束漏洩と巻線構造に特別な配慮を払った専用設計のトロイダル電源トランジスタやシャーシレイアウトも奏功し、深々とした静寂と余韻、そしてマルチチャンネルアンプとしては異例の116dB(IHF-A)を実現するS/Nを確保した●11組の内蔵パワーアンプを同一仕様・同一性能で揃えたのは、いかなるチャンネルもゆるがせにしないという美意識の現れであると同時に、真に有用なスピーカーアサインを実現するためでもある。たとえば3台のセンタースピーカーとバイアンプ駆動されたメイン/サラウンドスピーカーで組む重量級5.2chシステム、2台のMX-A5000をスタッキングして9ch分をバイアンプ化した究極の11.2chシステムなど、その可能性はヘビーユーザーの想像力を強く刺激するに違いない●11chをひとつの空間として描き切る圧倒的な力感と静けさ。11ch一体型だから実現できたしなやかな汎用性。私たちヤマハがひとりのエンスージアストとしてこだわり抜いた、確かな手応えがこの1台に集約されている。



11ch電流帰還型パワーアンプ (B) ブラック







感動を・ともに・創る